

## 【資料①】西宮市の育成センター待機児童数

	待機児童数(人)	市町村別 全国順位 (多い順)
R5.5.1	173	21
R6.5.1	174	23
R7.5.1	218	13
R8.5.1	190	

## 【資料②】学年別待機児童数の内訳(R8.5.1 時点)

学校区	1年	2年	3年	4年	5年	6年	待機児童
鳴尾北	1	1	3	21			26
甲東	3	1		22			26
甲子園浜	5	7	1	10			23
段上西	3			19			22
瓦木	1	2	1	15			19
樋ノ口	1	1	1	12			15
広田	2	6	5				13
上ヶ原南	4	6	3				13
平木	1	1	1	6			9
甲陽園	2		1	6			9
苦楽園		1	1	3			5
夙川	1	2	1				4
小松		1	1	1			3
今津	1	1					2
東山台	1						1
合計	26	30	19	115	0	0	190

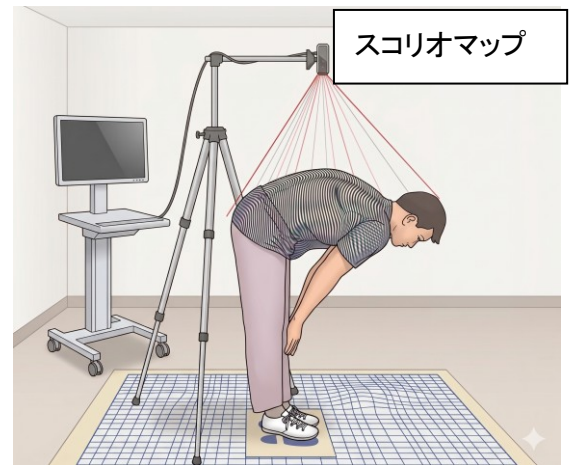
## 【資料③】

	育児部分休業 小学校就学前まで 一日最大2時間	職務専念義務の免除 小1まで 一日最大2時間の時間短縮	職務専念義務の免除 小2から卒業まで 一日30分の時間短縮
正規職員	○	○	○
会計年度任用職員	○	なし	なし

## 【資料④】学校での脊柱側彎症検診（参考：兵庫県予防医学協会 事業年報 2024 年）



モアレ検査



スコリオマップ

神戸市、小野市、上郡市、宝塚市、尼崎市、  
伊丹市、芦屋市、猪名川町などが採用

明石市のみ採用

## 【資料⑤】

ケアマネジャー2名体制訪問 年間件数・理由一覧（西宮市ケアマネジャー協会による簡易アンケート。  
20事業所へメールにて調査。14事業所より返答あり。アンケート期間 2026/6/5 から 6/8）

事業所名	ケアマネ構成	年間件数(目安)	2名対応の理由・具体的なエピソード
A 事業所	3名(内女性2名)	3~4件	年間1~2件は女性ケアマネへの同行が望ましいケースあり。
B 事業所	5名(全員女性)	5件	利用料金滞納、制度逸脱、虐待案件の養護者面談など。正論を伝えて敵対視されるリスクへの対応。
C 事業所	3名(男1・女2)	0件	現時点では必要ケースなし。今後は必要時に2名訪問するよう協議済。
D 事業所	5名(男1・女4)	1件	過去にテーブルに包丁を置く利用者がおり、役所や2名で訪問。予測できないリスクへの懸念あり。
E 事業所	-	随時(件数不明)	40代男性(生保2号)の一人暮らしや、精神疾患で訪問看護が2人体制で介入しているケースなどがある。
F 事業所	2名(全員女性)	過去に1件	家族(子ども2名)に易怒性傾向があり、包括支援センターに2回同行を依頼。(後に訪問看護が恐怖で撤退した事例あり)

事業所名	ケアマネ構成	年間件数(目安)	2名対応の理由・具体的なエピソード
G事業所	-	週1回頻度	「2人の方がいいね」となるケースが週1回ほどの高頻度で発生。
H事業所	5名(全員女性)	1~2件	利用者が精神疾患で自傷行為(包丁で足を切る等)あり。過去にヘルパーへ包丁を向けた経緯もある。
I事業所	1名(男性)	0件(現在はなし)	過去に「無理心中」を示唆するメールがあり、訪問時に床に包丁があった事例。1人ケアマネのため同行者がおらず恐怖。
J事業所	6名(男4・女2)	1~2件	同居の息子や配偶者からのハラスメント。対策として男性ケアマネへの担当変更で対応することも。
K事業所	-	常時2~3人	虐待案件は2名対応。それ以外の「ややこしいケース」も2名で対応。
L事業所	-	約3件	正確な数字ではないが、年間3ケースほどと推測。
M事業所	-	年1件程度	過去に娘が「自殺する」と包丁を持って連絡してきたケースあり(ケアマネ個人への刃物向けではない)。
N事業所	6名(全員女性)	約1件	娘からのハラスメント等。また、妻や娘に包丁を持ち出した幻覚症状のある男性利用者(ケアマネには温厚)への不安など。

## 【資料⑥】

